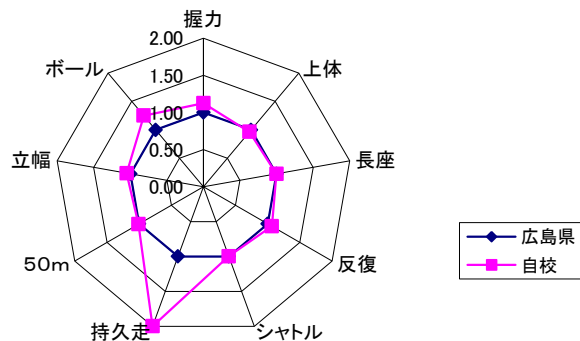


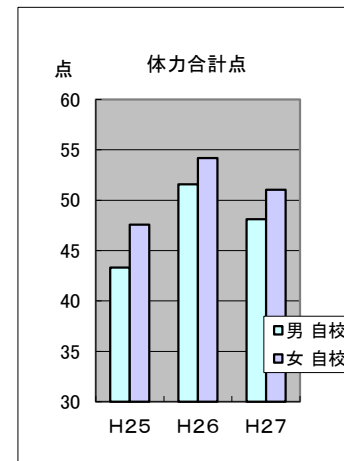
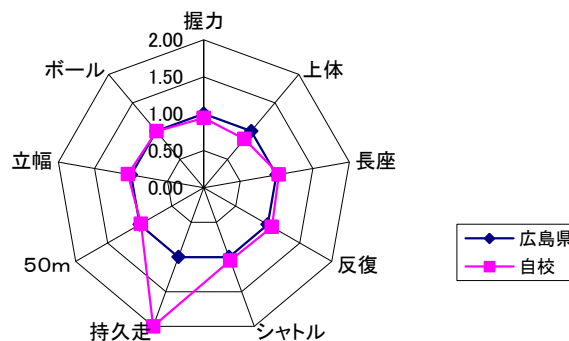
男子の体力合計点 学校 48.11 点 県平均 43.95 点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 51.05 点 県平均 51.15 点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



H27体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・2年生の男子は県平均を上回っているが、女子は全国平均、県平均、全国平均を下回る結果となった。
 - ・走る動作とスタートの技術が、十分身に付いていないためだと思われる。
- ②ハンドボール投げ(中学校区の課題種目)
 - ・2年生は、男子では全国平均で+5.19m、県平均で+5.33m上回り、女子では全国平均で-0.04m、県平均で-0.06mと全国平均、県平均ともに下回った。
 - ・男子は運動部に所属している生徒も多く、筋パワーだけでなく、ボールを投げる運動になれている生徒が多い。また、小学校からの取り組みの成果もあり、ボールを投げる動作になれていることが要因だと考えられる。
- ③上体起こし(自校の課題種目)
 - ・2年生は、県平均と比較すると男子で-1.03回、女子で-3.52回、全国平均との比較でも、男子で-0.74回、女子で-2.67回と大きく下回っている。
 - ・筋力や筋持久力を高める運動を継続して行っていないことが要因だと考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育の授業で、筋力を高めるための運動を取り入れるとともに、巧緻性を高める運動を積極的に取り入れる。 ・陸上競技の授業の指導で、スタートや中間疾走の姿勢を意識して指導を行う。
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中で連携し、投げる動作を児童生徒の発達段階に合わせて習得できるように共通の運動を取り入れていく。 ・小中一貫の特色を生かした交流を有効に使う、中学生が小学生に教える機会を設定し、意欲を向上させる。
③自校の課題種目 (上体起こし)	具体的な取組内容 ・冬場にサーキットトレーニングを取り入れるなど筋力を高める運動を取り入れる。 ・保健体育科の授業で体幹を鍛える補強運動を継続的に行う。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)